



## 競争優位な営業活動を支える情報分析スピードを実現する SAP NetWeaver® Business Warehouse Accelerator

### Overview

#### ◆チャレンジ

住友商事株式会社（以下、住友商事）は、大手総合商社として約 70 カ国に約 150 拠点、グループ全体では約 900 社、6 万人あまりの役職員を擁し、グローバルなネットワークを通じて多岐にわたる事業を展開しています。住友商事では、高度に情報を活用した経営管理実現のため、1998 年に「情報システム高度化委員会」を設置しました。本プロジェクトにおいて多様な総合商社の業務形態に柔軟に対応するため、基幹システムとして SAP® ERP を活用することで、全体最適化を優先した業務の標準化とデータの共通化を実現しました。

さらに、総合商社としての総合力を強化するため、各部門のマネジメント層の意思決定や現場の営業活動をサポートする情報分析機能も提供されています。しかし、膨大なデータ分析は、そのパフォーマンスが課題です。同社では、SAP NetWeaver BW Accelerator® の導入によって、情報分析スピードを向上しています。

#### ◆ソリューション

営業の現場において目的に応じた多角的な分析を可能にするため、住友商事では 2002 年に SAP NetWeaver® Business Warehouse（以下、SAP NetWeaver BW）を活用した多次元データベースを構築しました。詳細で自由度の高い分析機能を提供するため、同社では当初、集約キューブを作成することでパフォーマンスの問題を解決していました。しかし、日次で更新されるデータ・ウェアハウスの集約キューブ作成は、非常に負荷の大きな処理でもあります。そこで、集約キューブに代わる手段として同社が導入したのが、SAP NetWeaver BW Accelerator でした。

#### ◆効果

住友商事では、SAP NetWeaver BW Accelerator によって、集約キューブ作成にかかるシステムの負荷を軽減し、夜間バッチ処理時間の短縮と安定的なシステム運用を実現しました。

それまで同社では、集約キューブを夜間バッチ処理で作成していましたが、処理データが増加する月末や月初には、朝になってもジョブが終了しない場合があります。しかし、SAP NetWeaver BW Accelerator の導入によって、集約キューブがなくてもこれまでと同等のパフォーマンスで迅速で詳細な分析機能を提供することに成功し、夜間バッチ処理の時間短縮も実現しました。

#### ◆ソリューション製品構成

・ソフトウェア  
SAP ERP  
SAP NetWeaver Business Warehouse  
SAP NetWeaver BW Accelerator

・ハードウェア  
IBM BladeCenter® HS21、IBM System Storage DS4700

・パートナー  
住商情報システム株式会社

「事前アセスメントによって効果予想が可能だったことや、豊富な導入実績に裏付けられたノウハウの充実に期待し、SAP NetWeaver BW Accelerator の導入パートナーには IBM を選択しました」

住友商事 IT 企画推進部  
連結経営情報基盤チームリーダー  
山田 明義氏

お客様ニーズ

## 集約キューブを作成することなくパフォーマンスの向上を実現

住友商事が1998年から取り組んだ情報システム高度化で課題となったのは、陳腐化した既存の情報システムでした。部門ごとに個別のシステムが林立して複雑化し、連結ベースでの情報収集に多くの時間と労力がかかっていました。そこで同社では全社共通の情報基盤となる基幹系システムを刷新しました。これによって、業務プロセス、システム、コードを標準化・共通化し、業務を効率化して情報をより高いレベルで共有化することに成功しました。

単なる業務効率の向上だけにとどまらず、基幹システムで管理されている多様な経営情報を、各部門のマネジメント層の意思決定や営業活動をサポートすることを目指し、SAP NetWeaver BW を活用した多次元データベース Operational Data Store (以下、ODS) を稼働させ、すべての社員が閲覧できる情報分析機能を提供しています。しかし、大手商社として相手先だけでも30万にもおよぶ膨大なマスターを抱えるシステムにおいて、高度で迅速な情報分析を提供することは容易ではありません。ODSのデータ・ウェアハウスは日次で更新されていますが、同社ではこれまで情報分析のパフォーマンスを維持するため、集約キューブを作成していました。ところが、この集約キューブ作成にかかる処理負荷が大きく、基幹系システムのデータに間違いがあった場合のリカバリーも困難でした。また、夜のバッチ処理で作成されるはずの集約キューブが、朝の始業時間になってもま

だ作成中だったこともあったといいます。そこで、同社は集約キューブを作成することなくパフォーマンスを向上させる方法を模索し、SAP NetWeaver BW に手を加えることなくパフォーマンスを向上できる SAP NetWeaver BW Accelerator に着目したのです。

「集約キューブに代わる他のデータ・ウェアハウス・パッケージも含めてさまざまなものを検討しましたが、SAP NetWeaver BW を採用していたこともあり、やはり SAP NetWeaver BW Accelerator を試してみようということになりました」(住友商事 IT 企画推進部 連結経営情報基盤チームリーダー 山田 明義氏)。

導入の経緯

## 事前アセスメントによる効果予想から SAP NetWeaver BW Accelerator の導入を決定

住友商事では、2009年にODSのベースとなっているSAP NetWeaver BWをバージョンアップする予定となっていました。その際、既存の集約キューブに代わる新しい方法としてSAP NetWeaver BW Acceleratorによるパフォーマンス向上を検討していました。しかし、数千人以上のユーザーが利用するODSの分析機能をサポートする方法として、集約キューブに代えることができるかどうかには疑問が残っていたといいます。この疑問に対してIBMは、事前のアセスメントによるパフォーマンス評価を提案しています。実際の分析に利用するデータを用意し、集約キューブがある場合とない場合のパフォーマンスを比較し、同等のレベルで分析が可能であるかどうかを検証し

ています。つまり、集約キューブを SAP NetWeaver BW Accelerator に代えても、同等のレベルで分析が可能であることを確認した上で、SAP NetWeaver BW Accelerator の導入を決定することができたのです。

住友商事では SAP NetWeaver BW Accelerator の導入パートナーとして IBM を含めた数社を検討していましたが、この事前アセスメントの提案や、これまでの SAP NetWeaver BW Accelerator の導入実績から IBM に決定したといえます。

「事前アセスメントによって効果予想が可能だったことや、豊富な導入実績に裏付けられたノウハウの充実に期待し、SAP NetWeaver BW Accelerator の導入パートナーには IBM を選択しました」(山田氏)。

IBM が事前アセスメントを提案したのは 2008 年 12 月ですが、その後の検証を経て住友商事と住商情報システム株式会社（以下、住商情報システム）が SAP NetWeaver BW Accelerator の導入を開始したのは 2009 年 5 月、実際の稼働開始は 2009 年の 12 月です。実際の導入にあたっては、いくつかの問題も発生したといえます。

「導入に際して技術的な問題も発生したのですが、IBM が SAP と一緒に解決してくれました。IBM の SAP NetWeaver BW Accelerator 導入の経験の豊富さと SAP とのパートナーシップが、迅速な問題解決につながり、プロジェクトを遅延することなく完遂することができました」(住友商事 IT 企画推進部 部長付 連結経営情報基盤チーム サブリーダー 谷口博茂氏)。

導入効果

### **日次の情報更新時間が激減し 問題発生時のリカバリーにも余裕**

これまで集約キューブの作成には最大 8 時間程度の時間が必要でしたが、SAP NetWeaver BW Accelerator を導入してからは、更新処理は最大でも 5 時間程度に短縮しています。更新処理中に何らかの問題が発生した場合でも、SAP NetWeaver BW Accelerator であればリカバリーにも余裕ができています。

「夜間の集約キューブ作成中に問題が発生すると、リカバリーに時間がかかり業務開始時刻に間に合わないこともありました。SAP NetWeaver BW Accelerator 導入後は夜間バッチ処理終了から業務開始時刻まで数時間の余裕ができたので、リカバリーの時間があがる程度確保できます。この時間短縮はとても大きいです」(山田氏)。

また、気になる分析機能のパフォーマンスについても、集約キューブと同等のパフォーマンスが実現しています。谷口氏はユーザーからクレームがないことから、その効果が証明できるといいます。

「縁の下の力持ちである SAP NetWeaver BW Accelerator は、ユーザーの目にとまる仕組みではありません。しかし、集約キューブを作成することなく同等のパフォーマンスを維持することで、その効果を証明しています」(谷口氏)。

「縁の下の力持ちである SAP NetWeaver BW Accelerator は、ユーザーの目にとまる仕組みではありません。しかし、集約キューブを作成することなく同等のパフォーマンスを維持することで、その効果を証明しています」

住友商事 IT 企画推進部 部長付  
連結経営情報基盤チーム サブリーダー  
谷口博茂氏

## 将来の展望

### より多くのデータを収集して 充実した分析機能の提供を目指す

住友商事では、今後も SAP NetWeaver BW を活用した分析機能を拡充していきます。利用ユーザー数が 7,000 ～ 8,000 人におよぶ ODS は、すでに定例業務として安定利用されている分析機能です。

同社では、次の 10 年を見据えた土台作りのための中期経営計画において、「健全性や効率性を再強化しつつ、価値創力を高めることで中長期的な成長を図る」「ビジネスごとの特性や強みを活かし、多様な道行きを通して全社の成長につなげる」といった基本方針を掲げています。そこで、新たに「SIGMA 高度化プロジェクト」を発足させ、経営情報システムの更なる高度化を計画しています。分析の元となる情報をより広い範囲から収集し、情報の粒をさらに精緻化することで、マネジメント層の意思決定や現場での営業判断のためにさらに高度化された分析機能を提供していく予定であるといえます。

「定例業務として安定利用される現在の ODS は、ある意味“枯れた”仕組みです。提供されているレポートの中でも、利用されないレポートは淘汰されています。今後の発展を考えた場合、レポートの種類を増やしていくことよりも、その元となるデータ収集から検討しなおし、マネジメントの経営判断、現場の営業判断に最適化された分析機能を提供していきたいと考えています」(山田氏)。



#### 日本アイビーエム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21  
06-10 Printed in Japan  
<http://www.ibm.com/jp/>

IBM, IBM ロゴ, BladeCenter, System Storage は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。このカタログの情報は 2010 年 06 月現在のものです。製品、サービス等詳細については、弊社もしくは IBM ビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。

●当カタログに記載のデータは、すべての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境、その他の要因によって異なります。●掲載されている製品・サービスは IBM がビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。また国・地域によってはご提供条件が異なる場合がございます。詳細は各国 IBM にお問い合わせください。●掲載された情報は 2010 年 5 月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。  
© Copyright IBM Corporation 2010  
All rights reserved.



#### SAP ジャパン株式会社

本社 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目7番2号  
東京サンケイビル  
<http://www.sap.com/japan/>

© 2010 SAP AG. All rights reserved.  
SAP, R/3, SAP NetWeaver, Duet, PartnerEdge, ByDesign, Clear Enterprise, SAP BusinessObjects Explorer, および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP AG の商標または登録商標です。Business Objects および Business Objects ロゴ、Business Objects, Crystal Reports, Crystal Decisions, Web Intelligence, Xcelsius, および本書で引用されているその他の Business Objects 製品およびサービス、ならびにそれぞれのロゴも含めて、米国およびその他の国々における SAP France の商標または登録商標です。本書に記載されたその他の製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。また、これらの文書は SAP AG およびその関連会社 (「SAP グループ」) が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP グループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP グループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。